

令和4年度 七飯町立七飯中学校 学校経営の基本方針（再提案） ～ 資質・能力の明確化を受けて ～

2022. 8. 22

1 はじめに

社会のあらゆる仕組みがこれまで以上に急速に変化を遂げている中、各学校が育成を目指す資質・能力を明確にし、あらゆる資質・能力に共通する要素である「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の3つのことを確実に育む「新しい時代に相応しい学校の創造」（令和の日本型学校教育）が求められています。

また、そうした生徒の育成を実現するため、最上位目標やその目標を実現する手立てを地域社会と共有するなど、「社会に開かれた教育課程」を踏まえ、「ともに支え合い、ともに育てる」ことが大切です。

本校がこれまで培ってきた教育の一層の充実を図り、保護者や地域の人々と信頼関係でつながる中で、教育に関する法令、学習指導要領、北海道教育推進計画、七飯町教育振興基本計画（令和3年3月第3次改訂）等を踏まえ、以下に示す理念のもとに学校経営を進めます。

2 学校教育目標

- 学び続ける生徒 <知>
- 心豊かな生徒 <徳>
- 鍛える生徒 <体>
- 考える生徒 <情>
- 協力力できる生徒 <意>

平成13年4月 改訂

※現在の学校教育目標とこれから求められる資質・能力をどのように結びつけていくかという説明が必要であり、本校の学校教育目標の在り方についての協議が必要です。

3 学校経営の基本的な理念

<基本理念>

「新しい時代に相応しい、持続可能な学校の創造を目指します」
～ すべての生徒の社会的自立を目指して ～

（根拠）

- ・「主語を子ども」にした教育の推進は、学校教育の共通したベクトルです。

- ・これからの学校教育は「集団」を大切にしつつ、一層「個別化」が進みます。
- ・「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」は喫緊の課題です。基本理念に基づいた教育活動を展開する際の重要なファクターです。
- ・本校の実態を考慮したとき、個に応じた指導・支援が必要な生徒が多く在籍しています。こうしたことから、特別支援教育の理念に基づき、個に対する指導の充実とともに、ユニバーサルな学校づくりを進め、すべての生徒の社会的自立を目指します。

4 本校が育成を目指す資質・能力（今年度の重点）

教育活動における

（生徒の）「自己決定」を通して、「発信する力」を育みます。

5 経営方針

～ 全ての教育活動は資質・能力の育成に向けて ～

- 生命最優先
- 「主語を子供に」を基本的な考え方とし、教育活動の重点化・焦点化を図り、本校の強みを生み出すカリキュラム・マネジメントに取り組みます。
- ユニバーサルな学校づくりにより、全ての生徒の心理的安全性を高めるとともに、ぬくもりのある人間関係の構築で豊かな人間性を育みます。
- 校区小学校、町内中学校との緊密な連携を図るとともに、学校・家庭・地域がともに教育の主体者であることを自覚できるよう、コミュニティ・スクール等の取組を進めます。
- 目標実現を目途に、教職員が主体性を発揮するとともに、教職にやりがいを感じる働き方改革を推進します。

（キーワード）

- 「生命最優先」 道徳科、教育活動全体で取り組む道徳教育
- 「主語を子供に」 今年度は特別活動や総合的な学習の時間などで
- 「本校の強みを生み出すカリキュラム・マネジメント」
. 教育課程、小中学校の連携
- 「ユニバーサルな学校づくり」 授業改善、教育環境

「心理的安全性」・・・・・・・・ ガイダンスとカウンセリング
「コミュニティ・スクール」・・・・・・・・
「教職員の主体性」・・・・・・・・ 研修、組織改善、教職の醍醐味

6 経営方針を具現化するための留意事項

(1) 日常の業務を通じて、教職の基礎・基本を学ぶことができる学校の在り方を追求します。

①経営要項の改訂作業を通じ、法的根拠や学習指導要領の理解を深めます。

②「個別最適な学びと協働的な学び」の実現を目指した研修の在り方を工夫します。

③「主語を子供に」した教育活動の展開を徹底し、「発信する力」の育成を確実なものにします。

④教育効果の最大化を図るため、

a 「学習者主体」を明確にした教育活動を展開します。

b 「学級・学年・学校種」を超える学びを工夫します。

c 個に応じた学習空間の工夫などに努めます。

d 資質・能力の育成に向け、「総合的な学習の時間」「特別活動」を重視します。

※「総合的な学習の時間」については、その目標が、学校教育目標と直接的につながるといふ、他教科等にはない独自の位置付けと特色があります。

(2) 公立学校としての役割と責任に立脚し、一人ひとりの教職員の資質・能力の向上（学び続ける教師）に努めます。

・今日的な教育課題の理解と効果的な実践のため、研修の工夫・実施に努めます。

・法的な根拠等についての整備に努めます。

・一人ひとりの教職員が生きるとともに、一人一役を基本としつつ、チーム意識を高める複層型の組織編成を目指します。

(3) 目指す資質・能力を効果的に育成するため、ICT 機器を効果的に活用するとともに、教育活動を徹底して重点化・焦点化し、「コンパクト・スクール」を目指し、教育効果の最大化を図ります。（教育課程を軸とした働き方改革を進めます。）

(4) ガイダンスとカウンセリングの充実により、生徒の発達を支援します。